

「誰か」ではなく「自分」から
みんなで実践!

仕事 育児 家庭

両立しやすい職場づくり



実施しました

お仕事しているパパ・ママを見学!

子どもお仕事参観日

子どもたちが親の職場を見学する「子どもお仕事参観日」。働くパパ・ママに触れる機会は、親子の絆を深め、新たなコミュニケーションを生み出すとともに、職場と家族の交流により、仕事と育児・家庭の両立支援の意識醸成につながります。

一般社団法人由利本荘医師会 由利本荘医師会病院 [由利本荘市]

業種: 医療・福祉 従業員数: 200名 <http://yurihon-hospital.jp/>



由利本荘地域の医師会が運営する由利本荘医師会病院は、療養を中心とした医療機関で、機能維持・回復期のリハビリ訓練などにも力を入れています。また、CTやMRIといった高度医療機器の地域医療機関との共同利用、在宅療養患者の入院受け入れなどを通じ、地域住民に切れ目のない医療サービスを提供しています。

同院では、優秀な人材が長く安心して働ける環境づくりに取り組んでおり、産・育休、子の看護休暇、時短勤務といった子育てと仕事の両立支援制度の利用を積極的に推奨。こうした取組で、育休取得率100%、平均所定外労働時間20時間以内(同60時間以上の職員ゼロ)、有休取得率70%以上(または平均取得日数10日以上)などの実績を上げています。

当日のスケジュール

- | | |
|-------|---------------------|
| 13:30 | 看護部門 点滴、聴診器体験 |
| 14:15 | 放射線部門 X線、CT、MRI実験 |
| 15:00 | (おやつタイム) 栄養科 カロリー計算 |
| 15:45 | リハビリ部門 器具、装具の使用 |

見学内容

【参加者／小学生9名・中学生1名】

従業員の子どもの病院見学にはこれまで個別に対応してきましたが、要望が増えてきたことから今回初めて、全従業員を対象に実施しました。この日のプログラムは、子どもにはちょっと難しい医療の仕事を気軽に体験してもらおうと、各部署の担当者が趣向を凝らして立案。初めて触れる医療器具や機器に子どもたちは目を輝かせていました。

時間を計りながら点滴のスピードを調整したり、聴診器で心臓の音を聴いてみる看護師体験、高齢者体験装具やリハビリ器具を着けた患者体験。そしてレントゲン、CTスキャン、MRIなどで魚や果物をじっくり観察し、装置の音や強力な磁気にドキドキ。また、おやつの中には、自分が食べたいお菓子や飲み物の合計カロリーを真剣な表情で計算しました。疑問や好奇心は次々思い浮かんだようで、担当者や親と語り合う姿もあちらこちらで見られました。



保護者から

放射線技師長 三浦さん

自分の職場に連れてきたことはありますが、病院全体を見せるのは初めて。いろいろ体験し、医師や放射線技師の仕事にも興味津々でした。ふだんから子どもと過ごす時間は大切にしており、これからは仕事の話をする機会も増えそうです。後輩にも子育ての楽しさを伝えていきたいですね。

職場から

海法院長

子どもたちに自分の職場を見せたいという要望が増えてきたことから、病院全体でやってみてはと提案しました。各部署でいろいろと趣向を凝らし、おもしろいプログラムになったと思います。気軽な体験を通じて、親の職場や医療の仕事に興味を持ってもらえたらうれしいです。さらに、お互いの子どもや家族とのコミュニケーションで、従業員同士の理解やチームワークの向上にもつなげたいですね。

